

とよはし男女共生だより

# 花づな

第32号

▼主な内容

- 特集：女性の生き方 ----- 2
- シリーズ この人  
(介護の世界で働く男性) ----- 6
- 女性会館事業のご案内 ----- 8



男女共同参画社会とは「男らしく」「女らしく」という慣習的に作られた性差にとらわれず、男性、女性ともに社会の様々な活動に参画する機会が等しく与えられ、夢や希望にむかって個性や能力を発揮することができる社会です。

「花づな」は、男女が互いを尊重し、共に支え合う男女共同参画社会の実現をめざして、皆さんと一緒に考えるための冊子です。



# 女性の生き方

## これから働き続ける女性達へ

男女共同参画に関する豊橋市民の意識調査（H 20 実施）では、「男は仕事、女は家庭」という性別役割分担意識を否定する意見は全体で36.5%でした。女性が仕事をする事について、「子どもができてずっと仕事を続けるのがよい」と答えた人は24.7%、「子どもができたらずめて大きくなったら再びするのがよい」と答えた人は49.2%でした。（5ページ表参照）

このことは、子育てを中心とする家事は仕事を中断して女性が担うのが良いと考える人が、働き続けることを支持する人の倍あることと言えます。意識は変わっていても「家事は女性」という思い込みが根強く残っているという現実が見えるようです。

女性も男性と対等な社会の構成員として、働き続ける機会が保障される男女共同参画社会の実現に向けて、女性の働き方、働き続けることについて、先輩の女性に学んでみたいと思います。

女性が働くことについて今よりもっと意識が低く、周囲の理解が得られにくかった時代から働き続けてきた女性の一人、前田キミヨさんにご登場願ひ、その半生を振り返っていただき、今、これから働き続ける女性たちへ、示唆に富んだお話を伺いました。



前田 キミヨさん

昭和38年大学卒業、保育園に就職。愛知県立保育大学校講師、保育園長を経て平成12年から豊橋創造大学短期大学部幼児教育・保育科教授、現在は豊橋創造大学短期大学部名誉教授



## 平成 20 年度に実施された女性会館ライフアップセミナー

### 女性のチャレンジアップ!

「働く女性の印象美人の作り方講座」【土曜日/全5回講座】

4月19日～5月24日 場所➡豊橋市女性会館 研修室 対象➡女性 受講者➡30名



職場や、様々なビジネスシーンで、良い印象を与え、円滑なコミュニケーションにつながるスキルとして、表情の作り方、話し方、歩き方のほか、ビジネスマナーやビジネスメイクを学びました。二人の元気のいい女性講師のかけ声に合わせて、発声の練習をしたり、教室の中を歩いてみたりと、座って話を聞くだけでなく実践の学習を多く経験できる講座となりました。



◆現在、豊橋創造大学短期大学部名誉教授をお勤めでいらっしゃいますが、職業について意識された辺りから伺いたいのですが。

●就職も進学も考えていなかった高校生の時ですが、先生が「保育園の先生もいい仕事だぞ」と言ってくださったのがきっかけで、保母（保育士）を目指すことに決めました。子供の面倒をみるのが好きでしたから、「これだ!」と思いましたね。

私の時代は、女性が大学へ進学することが少ない時代でしたが、たまたま5人兄弟の末っ子だったため、父親も厳しく言わず進学を認めてくれました。大学を卒業して保育園に就職しましたが、ここまで働き続けるとは思いませんでした。今思い返すと沢山の転機に恵まれて、今日まで来たように思います。25歳の時ですが、新しい保育園の設立に関わるチャンスが与えられました。自分の持てる能力を発揮しようと意気揚々と取り組みますが、ここで就職後の最初の苦労を体験しました。当時は通園区域のようなものがあって、途中から新園に通うことになる子どもたちがいました。その親の不満は相当なものでありまして、対応する私も緊張感の中で神経がピリピリしていました。あるとき父に不満をぶつけたんですね。その時の父の、「それはヒステリック、実るほど頭を垂れる稲穂かな」の言葉に、しっかり考えさせられました。そして、「親から信頼を得る保育をしなければ」と強く思い、努力を続けました。その結果、保護者の方々の信頼を得、協力が得られ

るようになりました。

36歳の時、「保育大学で教鞭をとってみないか」という二つ目の転機が訪れました。女性が役職を持つということは、本当に大変なことですから、やはり家族に相談しました。夫の母は、「あなたが認められているのなら、やっておいで。協力するからあなたの気持ち次第。」と、また、夫も「協力する」と言ってくれました。家族の理解に押されて、保育の学問をもっと深めようと思い大学での仕事を選びました。家族の応援があって、転機を生かして仕事を続けてこられたと思っています。

◆仕事をやめたいと思ったことはありませんか。

●3年後に再び園長として保育の現場に戻りましたが、3年のブランクは大きく、悩みました。仕事をやめても経済的には何とかなる状況でもあったので、このときは気持ちが揺れましたね。しかし、自信が持てずに迷う気持ちの裏で、力不足だから勉強しなければいけない! 逃げてはいけない! という思いが強くなり、自分に負けることなく仕事を続けることができました。

50才になったとき、息子から「もうゆっくりすればいいじゃんか。」と言われましたが、その時はやめるタイミングではなかったですね。これまで私が仕事を続けることを家族が受け入れ、支えてきてくれたので、中途半端なところでやめたくないとい

## 平成20年度に実施された女性会館ライフアップセミナー

### 女性のチャレンジアップ2

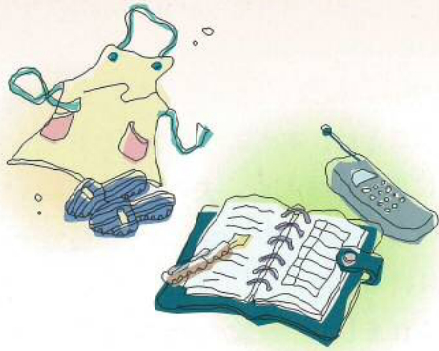
「我が家のマネープラン&ママの再チャレンジ応援セミナー」【木曜日/全4回講座】

5月22日～6月12日 場所➡豊橋市女性会館 研修室 対象➡女性 受講者➡37名

家計の収入と支出のマネープランや自分のライフプラン（人生生活設計）を考えたり、働き方の選択肢があるのか考えたりしました。考える参考として、働く場合にどのような資格があるのか、資格をどのように生かすか、その他保険や税金についても学習しました。就職の面接に向けて、自分自身の魅力、長所について、自分で考え、また他の参加者から意見をもらうことで確認できる楽しい時間を持てました。履歴書の書き方や面接時における自己アピールの仕方も学習でき、役立つ情報満載の講座でした。







う思いがありました。

そして現在ですが、昨年4月から非常勤で働くことにしました。夫の介護が必要になってきて、仕事に区切りをつけるタイミングと考えました。これまで家族の協力で働き続けることが出来たのですから、これからは私がお返りする番だと思っています。

◆女性が仕事をするということについて市民の意識調査では、「子どもができたならやめて大きくなったら再びするのがよい」という中断再就職型を選んだ人が3年前の調査より増えました。女性の生き方とも関連しますが、女性が働き続けるということは、家事・育児とのバランスをとることがまだまだ女性一人にかかっているとも考えられますが。

●専業主婦も一つの生き方、仕事に対する思いを深めていくのも一つの生き方であると思います。ただ、女性が能力を持っているのに活かせる環境

がなかったり、せっかく働いているのに仕事をやめてしまったりするのはもったいないと思いますね。女性が結婚、出産後も仕事を続けていくためには、家族の理解と協力がなければできないと思います。

核家族で共働きであれば、夫の協力なくして仕事と家庭の両立は成り立たないと考えるのが当然です。夫の協力がなければ働く妻は一人疲れきってしまいますからね。家事・育児と仕事が両立できるよう夫婦が互いに協力していくことが必要ですね。

また、子育ては母親が働いている、いないに関わらず、子の成長と共にいくつもの山を乗り越えなければなりません。第一の山は、子の乳幼児期をどう乗り越えるかとなるとと思いますが、この時期はスキンシップが大切な時期です。母親、父親の役割として固定的に考えるのではなく、互いに協力して両親の愛情を注いでほしいですね。また、家事・育児が夫婦だけで立ち行かないときは社会の支援制度を利用したり地域の力を借りたりすることも大切です。柔軟に考えて対応していけばいいと思います。

◆働き続けていくことは、子どもとのコミュニケーションもなかなか取れないと思うのですが。

●働いていても、子どもの行動や子どもが考え

### 平成20年度に実施された女性会館ライフアップセミナー

#### 女性のチャレンジアップ<sup>3</sup>

「自分も他人も尊重するトレーニング」【水曜日/全3回講座】

7月2日～7月16日 場所➡豊橋市女性会館 研修室 対象➡女性 受講者➡38名

受講者を募集したところ、定員のおよそ倍の受講者の申し込みがあり、人気の高い講座でした。この講座では、ジェンダーについて学び、自分や他人の尊重の仕方を学ぶことで、最後は個々人がありのままの自分を認め、自ら行動を選択し、自分の人生を生きることについて学びました。自分の体験や意見を述べあうグループワークを通して、自分を見つめ直し、自分のこれからの生き方を考える良い機会となりました。





ていることを知ることが大切ですね。私は夫の母に子どもを預けて働いてきましたから、母とのコミュニケーションで子どもの様子を知ることができましたし、子どもとの少しの接触時間も会話に努めて、子どもが何を考えているのかを知りました。子どもとのコミュニケーションを積極的にとる意識があれば、短い時間でも密度の高い意思疎通が図れると思います。

- ◆最後に女性へのメッセージをお願いします。
- ずっと働き続けることも結婚や出産を機に家庭に入ることもそれぞれの選択ですし生き方です。

ただ、専業主婦を選択して家庭に入っても社会の出来事にはいつも関心をもってほしいと思いますね。そして、働いている、いないに関わらず、少しでも自分のための時間をつくって、自分のために使ってほしいと思います。それから、仲間、友達を持ってほしいと思います。仲間と他愛無いおしゃべりをする中でパワーをもらい、頑張る力がわいてくることもあります。また、悩みごとがあっても仲間とおしゃべりしているうちに気持ちが晴れることもあります。人それぞれの経験や能力を生かしあい、互いに助けあい支えあっていくことが、人間社会の大切な営みであると思います。

■女性が仕事をすることについての考え方 国の調査、市の前回調査との比較

(%)

|            | 子どもができて<br>もずっと仕事を<br>続けるのがよい | 子どもができる<br>までは仕事をす<br>る方がよい | 結婚するまでは<br>仕事をする方が<br>よい | 子どもができたら<br>やめて大きくな<br>たら再び仕事を<br>するのがよい | 女性は仕事をし<br>ない方がよい | その他 | わからない | 無回答 |
|------------|-------------------------------|-----------------------------|--------------------------|--|-------------------|-----|-------|-----|
| 国 (H19.8)  | 43.4                          | 10.7                        | 5.5                      | 33.0                                     | 3.6               | 1.4 | 2.3   | —   |
| 女性         | 45.5                          | 9.5                         | 5.1                      | 33.8                                     | 3.3               | 1.1 | 1.7   | —   |
| 男性         | 40.9                          | 12.3                        | 5.9                      | 32.2                                     | 4.4               | 1.7 | 3.0   | —   |
| 豊橋市(H20.5) | 24.7                          | 6.2                         | 2.9                      | 49.2                                     | 1.2               | 9.0 | 4.1   | 2.6 |
| 女性         | 24.5                          | 4.8                         | 2.8                      | 50.9                                     | 1.1               | 9.5 | 4.4   | 2.0 |
| 男性         | 24.8                          | 7.9                         | 3.2                      | 48.4                                     | 1.4               | 8.7 | 3.6   | 2.0 |
| 豊橋市(H17.5) | 24.8                          | 5.8                         | 2.9                      | 43.8                                     | 0.9               | 7.1 | 5.8   | 9.0 |
| 女性         | 24.8                          | 5.5                         | 2.4                      | 45.9                                     | 0.8               | 6.2 | 5.9   | 8.5 |
| 男性         | 25.7                          | 6.3                         | 3.5                      | 40.2                                     | 1.2               | 8.6 | 5.1   | 9.3 |
| 豊橋市(H13.8) | 23.9                          | 6.8                         | 2.3                      | 47.5                                     | 1.0               | 7.4 | 4.5   | 6.6 |
| 女性         | 23.1                          | 6.7                         | 2.0                      | 49.5                                     | 0.4               | 8.1 | 5.1   | 5.1 |
| 男性         | 25.3                          | 6.7                         | 2.6                      | 46.5                                     | 1.3               | 5.7 | 3.6   | 8.3 |

【資料】 国(内閣府)「男女共同参画社会に関する世論調査」(平成19年8月)  
 豊橋市「男女共同参画に関する市民の意識調査」(平成20年5月)  
 豊橋市「男女共同参画に関する市民の意識調査」(平成17年5月)  
 豊橋市「男女共同参画に関する市民の意識調査」(平成13年8月)

平成20年度に実施された女性会館ライフアップセミナー

女性のチャレンジアップ④

「美術史の中の女性 ～偉大な女性画家はいなかったの?～」【水曜日/全3回講座】

11月19日～12月10日 場所➡豊橋市女性会館 会議室 対象➡女性 受講者➡21名

美術史の中の偉大な女性画家、アーティストを取り上げ、過去どんな女性たちが活躍し、現在活躍しているか学習しました。女性の能力について再評価するとともに、女性画家や女性アーティストたちが置かれた社会がいかに活躍しにくい社会で、差別を受けていたのか知ることとなりました。また、現在の社会においても、ジェンダーなどによりこのような問題が残っているということを認識しました。この講座では、浜松の平野美術館へ実際に美術鑑賞にでかけました。受講者にとっても好評でした。





## 「介護の世界で働く男性」

葉原 幸太さん



**介**護保険や障害者自立支援の制度の整備によって、従来は家族だけで行われてきた介護が介護福祉士、ケアマネージャー、ホームヘルパー等の介護技術を備えた方々が専門職として介護サービスを提供するようになりました。ホームヘルパーの職域には女性が多く進出した影響もあってか、「ホームヘルパーは女性の仕事」というイメージがあります。今回は、そんなイメージをさらりとくつがえし、生き生きと障害者の居宅介護サービスに取り組んでいらっしゃる男性取材しました。

どりいむ  
社会福祉法人童里夢地域生活支援センター  
「すたあと」相談支援専門員

くわ ぼら こう た  
葉原 幸太さん (31歳)

妻、子ども2人(3歳と1歳)、両親の6人家族

## ◆介護の仕事に入られたきっかけは？

●高校生の時、身体に障害のある人の生活補助具や介護器具の開発をやってみたくて思っていました。大学時代にボランティアとして高齢者や障害者の方に接する機会がありまして、「やっぱり人に接する仕事がしたい」という気持ちが固まっていきました。この仕事に進む時は両親も多少心配していましたが、普段から家族で会話を多く持つようにしていましたので、特に強い反対もなく「責任をもって、しっかりやりなさい。」とだけ言われました。妻は、同じ施設で働いていた元同僚です。今の仕事内容も多くの問題もすべて理解し、温かく見守ってくれています。

## ◆介護職場の現状はいかがですか？

●とにかく介護の職種につく人が少ないですね。特に若い人がいません。希望を抱いてこの世界に入ってきて、労働条件の悪さから離職する人が後を絶ちません。ヘルパーの場合、若い男性は皆無です。利用者さんのためには同性介護が理想で



すが、ヘルパー職員の多くは子育てを終えた女性です。本人だけでなく家族を含めた生活環境を考慮して支援を行うことは、大変な責任を負う仕事です。男性の一生の仕事として、とてもやりがいのある職種だと思います。



### ◆これからの介護に必要なことは？

●今まで障害を抱えた方達は、養護学校などを卒業した後施設に通い、親が亡くなった後は施設で過ごすという生活スタイルが多かったのですが、これからは地域で一生を過ごすことが目標になってくると思います。そのためには、地域の人達がその人のことを幼いときから知っているということが必要になってきます。

この前、豊橋市後援のライブコンサートに利用者さんと一緒に出かけたのですが、こちらの希望を配慮してくださり、とてもスムーズに参加できました。健常の方達と同じ空間で同じ体験ができるって素晴らしいことですね。

これからは福祉施設がイベントを行うより、地域のイベントに障害を抱えた方達が参加しやすい



ように工夫していただく方が、もっと自然に交流できるのではないかと思います。地域での新しい企画を期待したいです。

### ◆介護という仕事を通じて得られたことは？

●介護は、特別に何かをしてあげようというものではありません。決して自分の都合や常識を押し付けてはいけません。また、家族の方の希望が優先されたり、こちらがすべてやってあげてしまったりするものではありません。ご本人の気持ちに寄り添ってあげるだけです。

障害を抱えた子どもさんを育てることはとても大変なことです。手をかけ時間をかけて育てた分、ご両親はその子どもさんに対する思いがひとしおであることを親になって改めて分かりました。出来なかったことが出来るようになる。私に笑顔で応えてくれる。私を必要として待っていてくれる。こんな些細なことがとてもうれしく、仕事へのやりがいにつながります。

人が成長する様子は、障害を抱えた方も皆同じなんだとつくづく思います。妻とわが子の小さな成長を喜べるのも、この仕事を続けてきたおかげです。若い人達にもっともっとこの仕事に興味をもっていただきたいです。特に男性の方、大歓迎ですよ！

## インタビューを終えて

障害者介護の現状の厳しさを問題とせず、優しく語ってくださる 葉原さん。自らの夢や希望を熱く語ってくださる姿に「介護のプロ」としてのたくましさを感じました。

「介護は特別に何かをしてあげることはありません。その人の生活の場面にそっと寄り添ってあげるだけです。」この言葉に葉原さんの人柄が表れているようで、とても印象的でした。お忙しい中、貴重なお話本当にありがとうございました。

このシリーズは石川、戸崎、大槻が取材、執筆しました。





## 豊橋女性団体連絡会に入りませんか！

### 豊橋女性団体連絡会

市内の女性団体・グループで組織され、情報交換及び団体活動の活性化を促進するとともに、男女共同参画社会の実現をめざして活動することを目的とします。

### 主な活動

豊橋男女共生フェスティバルの企画、運営、各種研修会の実施、他市町村との交流会の実施などが主な活動です。

### 特典

女性会館の利用について優遇されます。(ただし、個人の教養、趣味に関する活動は除かれます。)

問合せ先●豊橋市（豊橋市女性会館）

〒441-8075 豊橋市神野ふ頭町3-22

電話 0532-33-2822

### 加入団体（H21.2.1 現在 23 団体）

豊橋市更生保護女性会、豊橋消費者協会、豊橋市生活学校、豊橋市民生委員児童委員協議会、農村輝きネット・東三河、わっぱの会、とよはし未来を拓く会、ニューモラル友の会、豊橋おやこ劇場協議会、東三にじの会、新日本婦人の会豊橋支部、豊橋朗読の会、Kids & Mama N P Oねこのて、W I Cとよはし、とよはし女性フォーラム、JA 豊橋女性部会、託児グループあいあい、れもんの会、マザーズサポートきらら、とよはし・キルト・倶楽部、とよはしCAP、子どもの育ちを考える会「ニノ」、ハッピーグループ

## 女性相談事業

### のご案内

女性が抱える悩みや不安は様々です。家庭や職場などの人権を侵害する暴力に対する悩みまで、あなたの気持ちを大切に受け止め、あなたらしい生き方への第一歩を踏み出すお手伝いをします。

▶相談に関する問合せ  
0532-33-2822

### ●女性のための電話悩みごと相談

◎毎週月～土曜日（祝日・休館日は除く）

◎午前9時～午後3時 ◎相談電話番号 **0532-33-3098**

### ●女性のための悩みごと面接相談

◎毎月第3水曜日 ◎午前9時30分～午後3時30分

### ●専門相談（女性の専門家による面接相談）

◎心の相談（年24回） ◎法律相談（年6回）

◎専門相談は予約制です。◎予約電話 **0532-33-2822**

（予約電話は月～金曜日の午前9時～午後3時）

日程等の詳細は広報とよはし、女性会館ホームページ  
(<http://www.city.toyohashi.aichi.jp/josei/>) でお知らせします。

## 編集後記

世界同時不況に入り、日本でも正規、非正規を問わず人員削減のニュースが繰り返し伝えられています。それでワークシェアリング（労働時間の短縮、均等化等で仕事を多くの人で分かち合う方法）を模索し始めた企業があります。生活時間にゆとりが持てれば、男性は家事や子育てや地域に楽しく関わることもできるでしょう。女性が社会で能力を生かし活躍する場も広がり、家庭と社会での責任を分担するなど、「禍い転じて福となる」となってほしいですね。

寺島悦子

一般的に男性は、男女共同参画に対する理解が女性に比べて低いと言われ、また、現状は肯定せざるをえません。しかし、働く妻のために0歳児の公的居場所づくりに奔走した先人が身近にいることも事実なのです。

石川 守

編集委員 石川 守・寺島悦子・戸崎史子・大槻晴代・山本明希子

豊橋男女共生だより第32号 発行年月/平成21年3月

発行/豊橋市（豊橋市女性会館）〒441-8075 豊橋市神野ふ頭町3-22 電話 0532-33-2822 / FAX0532-33-2810

この冊子は、カラーユニバーサルデザインに対応しています。